

令和5年度

草津栗東行政事務組合一般会計
決算審査意見書

草津栗東行政事務組合監査委員

草栗行組事発第280号

令和6年7月26日

草津栗東行政事務組合

管理者 橋 川 渉 様

草津栗東行政事務組合監査委員 井之口 秀行

草津栗東行政事務組合監査委員 井上 薫

令和5年度 草津栗東行政事務組合一般会計決算審査意見書の提出について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和5年度草津栗東行政事務組合一般会計決算について、草津栗東行政事務組合監査委員監査基準に準拠して審査を行った結果、次のとおり意見を提出します。

目次

第 1. 審査の対象	1
第 2. 審査の期間	1
第 3. 審査の手続き	1
第 4. 審査の結果	1
第 5. 決算の概要	1
1. 総括	1
2. 歳入の状況	2
3. 歳出の状況	3
4. 性質別経費の決算状況	4
5. 財産に関する調書	4
第 6. むすび	5

第1. 審査の対象

令和5年度草津栗東行政事務組合一般会計歳入歳出決算

第2. 審査の期間

令和6年7月18日

第3. 審査の手続き

令和5年度草津栗東行政事務組合一般会計歳入歳出決算書等および証拠書類の照合等を行うとともに、関係職員から説明を聴取するなどの方法により、草津栗東行政事務組合監査委員監査基準に準拠して審査を実施した。

第4. 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書および財産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、決算の計数は、関係諸帳簿と符合して正確であると認められた。決算の概要および意見は次のとおりである。

第5. 決算の概要

1. 総括

令和5年度の決算額は、予算額133,568千円に対して歳入125,693千円、歳出125,693千円、実質収支は0円となった。

令和4年度と比較すると、歳入・歳出ともに143,353千円の減である。

一般会計決算収支表

(単位：千円)

	歳入 総額	歳出 総額	歳入歳出 差引額	翌年度へ繰越 すべき財源	実質 収支額
令和5年度	125,693	125,693	-	-	-
令和4年度	269,046	269,046	-	-	-
前年度比	▲143,353	▲143,353	-	-	-

2. 歳入の状況

歳入の決算状況は、次のとおりである。

令和5年度歳入決算は、予算額133,568千円、収入済額125,693千円、執行率94.10%で、収入済額は予算額に対して7,875千円の減である。

令和4年度と比較すると、予算額は149,020千円の減、収入済額は143,353千円の減である。

また、調定額125,693千円に対し、100%の収入率となり、不納欠損額・収入未済額は0円となった。

款別収入状況

第1款 分担金及び負担金

(単位：千円)

年 度	予 算 現 額 A	調 定 額 B	収 入 済 額 C	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	執 行 率	収 入 率
令和5年度	133,564	125,686	125,686	-	-	94.10%	100.00%
令和4年度	282,588	269,046	269,046	-	-	95.21%	100.00%
前年度比	▲149,024	▲143,360	▲143,360	-	-	-	-

分担金及び負担金は、構成市からの負担金であり、歳入全体の99.99%を占めている。

第2款 使用料及び手数料

(単位：千円)

年 度	予 算 現 額 A	調 定 額 B	収 入 済 額 C	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	執 行 率	収 入 率
令和5年度	4	7	7	-	-	175.00%	100.00%
令和4年度	-	-	-	-	-	-	-
前年度比	4	7	7	-	-	-	-

使用料及び手数料は、行政財産使用料であり、歳入全体の0.01%を占めている。

3. 歳出の状況

歳出の決算状況は、次のとおりである。

令和5年度歳出決算は、予算額133,568千円に対して、支出済額は125,693千円、不用額は7,875千円となり、執行率は94.10%であった。

款別執行状況

(単位：千円)

款別	年 度	予 算 現 額 A	支 出 済 額 B	不 用 額	執 行 率 B/A
議 会 費	令 和 5 年 度	1,193	584	609	48.95%
	令 和 4 年 度	1,128	525	603	46.54%
総 務 費	令 和 5 年 度	58,419	56,486	1,933	96.69%
	令 和 4 年 度	30,645	29,915	730	97.62%
衛 生 費	令 和 5 年 度	72,956	68,623	4,333	94.06%
	令 和 4 年 度	249,815	238,606	11,209	95.51%
予 備 費	令 和 5 年 度	1,000	-	1,000	-
	令 和 4 年 度	1,000	-	1,000	-
合 計	令 和 5 年 度	133,568	125,693	7,875	94.10%
	令 和 4 年 度	282,588	269,046	13,542	95.21%

各款別の歳出執行状況についてみると、議会費の支出済額で主なものは、議員報酬300千円である。

総務費の支出済額で主なものは、派遣職員負担金52,748千円である。

衛生費の支出済額で主なものは、委託料68,588千円である。

4. 性質別経費の決算状況

歳出の性質別経費の状況は、次のとおりである。

(単位：千円)

	令和5年度		令和4年度		前年度比	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増減額 A-B=C	増減率 C/B
1. 義務的経費	475	0.38%	271	0.10%	204	75.28%
(1) 人件費	475	0.38%	271	0.10%	204	75.28%
(2) 扶助費	-	-	-	-	-	-
(3) 公債費	-	-	-	-	-	-
2. 投資的経費	-	-	237,883	88.42%	▲237,883	皆減
(1) 普通建設事業費	-	-	237,883	88.42%	▲237,883	皆減
(ア) 補助事業費	-	-	-	-	-	-
(イ) 単独事業費	-	-	237,883	88.42%	▲237,883	皆減
3. その他の経費	125,218	99.62%	30,892	11.48%	94,326	305.34%
(1) 物件費	71,231	56.67%	2,781	1.03%	68,450	2,461.34%
(2) 維持補修費	-	-	-	-	-	-
(3) 補助費	53,987	42.95%	28,111	10.45%	25,876	92.05%
合 計	125,693	100.00%	269,046	100.00%	▲143,353	▲53.28%

性質別経費についてみると、その他の経費が 99.62%を占めており、主なものは、基本計画策定他業務（物件費）の 31,966 千円、環境影響調査業務（物件費）の 36,564 千円、構成市負担金（補助費）の 53,987 千円である。

5. 財産に関する調書

財産に関する調書において、公有財産、物品、債券および基金については、次のとおりである。

(1) 公有財産

(単位：㎡)

	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
行政財産（土地）	22,800.00	-	22,800.00

- (2) 物品 該当なし
- (3) 債券 該当なし
- (4) 基金 該当なし

第6. むすび

我が国の景気の先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

構成市では、原油価格・物価高騰などの影響に加え、社会保障関係経費である扶助費等の伸びにより、引き続き非常に厳しい財政運営が予測される。当組合においても構成市の現下の財政状況を十分認識した上で、経済性、効率性、有効性の観点を持ち事業を進めていただきたい。

令和5年度の予算執行に関しては、おおむね適正に執行されていると認められた。予算執行率が低い予算科目については、これまでの実績を考慮の上、事業の精査を十分に行うことで、今後も適切な予算措置に努められたい。

整備業務の執行については、増加する火葬需要への対応のため、施設の供用開始時期が遅れないよう、今後も工程管理等を的確に行い、着実な進捗に努められたい。